

〔文化財伝承等の取組事例〕

「鹿児島東学校のせばる隼人舞伝承活動の取組」

1. 学校名	鹿児島県立 鹿児島東高等学校			
2. 学年・人数	3年生（2人）	2年生（5人）	1年生（2人）	合計（9人）
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和6年11月5日（火）、11月7日（木）、11月8日（金）、11月11日（月）、11月18日（月）、11月19日（火）16：00～ 本校体育館</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和6年11月23日（土）10：00～ せばる隼人舞祭り（坂元台小学校）</p>			
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	<p>(1) 名称 せばる隼人舞（せばるはやとまい）</p> <p>(2) 由来 約1500年前隼人族が、坂元町「おとん山」を拠点として、神を迎え「歌」や「舞」を奉納していた。それから200年後隼人族は、大和朝廷の意に逆らったため、派遣された部隊に征服され、楽器等の没収や隼人を残らず奈良に連行され、朝廷の祭に従事させられた。以来おとん山での「歌」や「舞」が途絶え見られなくなったと、云い伝えられていた。昭和61年坂元台校区の活性化をきっかけとし、当時のせばる隼人舞を再現した。</p> <p>(3) 構成等 ①神招の舞（神様を招く） ②弓の舞（狩猟の豊かさを祈る） ③松明の舞（火を敬い神々に感謝の意を表す） ④猿女の舞（邪を払う） ⑤杵舞（五穀豊穡の祈り） ⑥十二剣舞（魔除け） ⑦せばる隼人舞（平穩無事の祈願と自己の鼓舞） ⑧序の舞（会場を祓い清める） ※元来この舞には「お祓いの舞」「振剣の舞」などがあるが、保存会は上記①～⑧を伝承している。本校は①神招の舞と⑧序の舞を担当している。</p>			
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	<p>6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点 学校と地域が連携・協力しながら、せばる隼人舞を継承していくために、本校ダンス部を中心に熱意のある生徒を募集して「せばる隼人舞同好会」を結成している。また、本校は国際交流も盛んであり、海外から来た高校生との交流の機会に、日本文化のひとつとして披露している。</p>			
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>神招の舞</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>序の舞</p> </div> </div>			
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>(1) 生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方や先輩に教えてもらい演舞することができた。</li> <li>・ 大勢の地域の方々の前で披露し、緊張したが良い経験になった。</li> </ul> <p>(2) 教職員の感想</p> <p>保存会の方から、せばる隼人舞の由来を聞いたり、仲間同士で教え合ったりする中、伝統行事に携わることで、地域への愛着を感じている様子であった。毎年参加しており、生徒たちは、熱心に練習に取り組み、本番では十分に練習の成果を発揮している。</p>			